

# ProMED-mail情報 2020年 6月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
29日	ボツリヌス症 英国、アイルランド	Primula社は、定期検査で1つの乳製品から Clostridium botulinum が検出されたため、汚染の可能性のある10種類の関連製品をリコール。
26日	エボラ出血熱 コンゴ民主共和国 (DRC)	DRC保健当局は、同国東部でのアウトブレイクは約2年が経過し終息したことを宣言。北キブ州とイトゥリ州を中心とした感染は3,470人に達し、確定した3,317人のうち、2,287人が死亡し1,170人が生存。
25日	麻疹 ナイジェリア	COVID-19感染症に対するロックダウンの間に、ナイジャ州の13の地域で麻疹のアウトブレイクが発生。この要因として、多くの保護者がCOVID-19に感染することを恐れて、子供の定期予防接種のため保健施設に連れて行かなかったと関連機関は説明。
22日	サイクロスポラ症 米国	保健当局によると、複数州でサイクロスポラ症が発生しており、特定の店舗ブランドのガーデンサラダミックスに関連しているという。FDAとCDCは共に安全警告を発表し、中西部の6つの州の消費者に対し、特定のサラダの購入を避けるよう助言している。
21日	鳥インフルエンザ ブルガリア	6月4日、プロヴディフ州の農場（鳥類）から高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）H5N8が検出された。同国では今年2月から3月にかけて、HPAIのアウトブレイクが8件報告されている。
19日	黄熱病 ガボン共和国	4月15日、世界保健機関はニャンガ州チバンガで確認された黄熱患者に関する情報を入手。同国での黄熱ワクチン接種率は85%以下。
18日	腸管出血性大腸菌 カナダ	公衆衛生庁は大腸菌汚染の疑いがあるとして、1月13日から6月までの間にカナダ全土で販売された特定のペットフードのリコールを発表。本件に関連して、4例が大腸菌への曝露により発病したとのこと。
17日	クリミア・コンゴ出血熱 (CCHF) トルコ	6月10日までに480例の感染が報告され、例年に比べてより早い時期に多くの症例がみられている。CCHFウイルスの主な媒介動物はマダニで、毎年ヨーロッパ南東部とトルコから1,000例以上の患者が報告されている。
17日	ペスト コンゴ民主共和国	イトゥリ州で6月16日時点で、10例（うち死亡4例）の感染者のうち8例が腺ペスト、2例が敗血症型ペストと診断された。
16日	ダニ媒介性脳炎 フランス	28例のダニ媒介性脳炎ウイルスの感染が確認され9例が調査中。これらは、GAEC des Chevrettes du Vieux Valey社が生産するヤギの生乳とチーズにウイルスが混入していたことが原因で発生した。
15日	新型コロナウイルス (COVID-19) 中国	北京で6月11日から14日の期間に、77例の症候性の検査確定症例と、46例の無症候性の検査確定症例が確認された。初期症例のほとんどは北京市内の市場に関連していた。
5日	アフリカ豚熱 中国	雲南省中国動物疫病管理センターは、永勝県の農場でアフリカ豚熱のアウトブレイクが発生したと報告。診断が確認された時点では、農場にいる102頭の豚のうち、81頭が罹患し全頭が死亡。
2日	サルモネラ症 中国	健康保護センター(CHP)は、関連するサンドイッチを食べた229人が症状を訴え、45人が治療を必要としたと報告。食中毒の疑いがある96のクラスターを確認し、12人の便検体と1つの食品からサルモネラ菌を検出。
1日	エボラ出血熱 コンゴ民主共和国	赤道州ワンガタ保健区で新たに6例のエボラ出血熱（うち3例が臨床検査で確定）が発生し、このうち4例が死亡し2例が治療を受けている。1976年に同国で初めて発生して以来11回目のアウトブレイク。